

科目区分	基礎科目	科目名	英語		科目コード	10303	担当者	奈良望	
対象学生	栄養士コース1年生 ビジネス・医療秘書コース1年生 介護福祉士コース1年生		学期区分	通年	単位数	2	卒業要件	選択必修	
							免許・資格要件		
科目の主題							成績評価の方法と割合		
英語で書かれた情報に接することによって、情報獲得の手段としての英語に慣れる。それぞれのコースにかかわりのある内容の教材を用い、その要旨を掴むことで異文化理解を深める。また、オーラルの要素も導入して、毎回会話の練習にも挑んでもらう。							臨時試験70%（各学期3回） 受講態度30%		
科目の到達目標							教育目標に基づく学修成果の到達目標		
							誠実な人柄と人間力（尽心）	高度な知性と創造力（創造）	明確な意志と実践力（実践）
1.	英語で書かれた情報に触れることに慣れる。								
2.	日本語による解説を通して要旨を掴む習慣をつける。							○	
3.	日本語及び英語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。						○	○	
4.	海外事情を知ることで、視野を広げる。							○	
5.									
授業方法									
中学・高校で学んできた英語を実際に使ってみる。米国の新聞をプリントとして利用し、内容を紹介・解説することで授業を進める。そこに書かれた大意を理解することを目指しており、文法の説明等は最低限に留める。英語の基礎知識の確認と会話の練習を適宜加える。									
準備学修（予習、復習等に必要な時間または具体的な学修内容）									
プリントのタイトルを事前に調べ、そこから内容を想像することが第一歩。次に辞書は使わずにプリント（A4裏表）全体を眺めてみて内容を想像することが大切。間違った想像を授業で訂正していく過程から学ぶことができる。会話上達には授業時間以外の繰り返し練習が不可欠である。									
授業計画									
第1回	Introduction				第16回	Reading / Conversation			
第2回	Reading / Basic Review and/or Conversation				第17回	Reading / Conversation			
第3回	Reading / Basic Review and/or Conversation				第18回	Reading / Conversation			
第4回	Reading / Basic Review and/or Conversation				第19回	Reading / Conversation			
第5回	Reading / Basic Review and/or Conversation				第20回	Reading / Conversation			
第6回	Quiz or Assignment				第21回	Quiz or Assignment			
第7回	Reading / Basic Review and/or Conversation				第22回	Reading / Conversation			
第8回	Reading / Basic Review and/or Conversation				第23回	Reading / Conversation			
第9回	Reading / Basic Review and/or Conversation				第24回	Reading / Conversation			
第10回	Reading / Basic Review and/or Conversation				第25回	Reading / Conversation			
第11回	Quiz or Assignment				第26回	Quiz or Assignment			
第12回	Reading / Basic Review and/or Conversation				第27回	Reading / Conversation			
第13回	Reading / Basic Review and/or Conversation				第28回	Reading / Conversation			
第14回	Reading / Basic Review and/or Conversation				第29回	Reading / Conversation			
第15回	Reading / Basic Review and/or Conversation				第30回	Reading / Conversation			
教科書・参考書				受講生へのメッセージ					
プリントを使用				Better late than never.					